



北海道大学 附属図書館

概要 2017

HOKKAIDO UNIVERSITY
LIBRARY



附属図書館は、北海道大学の4つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。

<明治>

- 9年 8月 札幌農学校開校、講堂に「書箱室」を設置(蔵書6,149冊)
- 24年 11月 書籍館主任(監守)として新渡戸稲造が就任、最初の館長となる
- 33年 2月 デューイの目録規則によりカード目録の作成に着手
- 40年 6月 札幌農学校の大学昇格に伴い、「東北帝国大学農科大学図書館」と改称

<大正>

- 7年 3月 「北海道帝国大学図書館」と改称
- 11年 5月 「北海道帝国大学附属図書館」と改称し、官制上の館長等の職制を制定
- 14年 9月 木造平屋建て、60坪の雑誌閲覧室と事務室を新築

<昭和>

- 22年 10月 官制改正により「北海道大学附属図書館」と改称
- 38年 11月 教養部内に附属図書館の分室を設置
- 40年 6月 図書館新営工事が完了
- 42年 6月 文学部に設置されていた「北方文化研究室」資料を引き継ぎ、本館に「北方資料室」を設置
- 44年 10月 教養分館を新築
- 46年 1月 北海道大学沿革資料室を開設
- 50年 4月 法学部の図書業務を統合
- 52年 7月 教養分館の増築工事が完了
- 54年 4月 経済学部設置の国連寄託図書業務を図書館に移管
- 56年 4月 言語文化部の図書業務を統合
- 57年 3月 EC資料センター(EDC)を開設
- 60年 1月 本館の増築工事が完了
- 61年 3月 図書館専用電算機が導入され、図書業務電算化及び蔵書のオンライン検索を開始

<平成>

- 6年 3月 経済学部の図書業務を部分統合
- 7年 4月 教養分館を北分館と改称
- 9月 附属図書館ホームページを開設
- 8年 10月 北方資料データベースを公開
- 11年 3月 教育学部の図書業務を部分統合
- 13年 3月 本館に本学沿革資料展示室、貴重資料室を設置
- 2階・3階を開架図書閲覧室、4階を参考閲覧室に改修
- 14年 11月 学外利用者(一般市民)への館外貸出を開始
- 16年 7月 スラブ研究センターの図書業務を統合
- 18年 4月 本館・北分館の業務(発注、受入、目録)を統合
- 北海道大学学術成果コレクションの運用を開始
- 19年 4月 全学の図書館業務(発注、受入、目録)を統合
- 21年 8月 北分館を北図書館と改称し、分館長を北図書館長に改称
- 23年 4月 本館の新営工事(南棟)が完了
- 本館南棟に自動化書庫を設置
- 7月 本館南棟オープン
- 24年 3月 本館の改修工事が完了
- 4月 本館メディアコートオープン
- 25年 11月 研究開発室開設
- 27年 2月 北図書館の新営工事(西棟)が完了
- 4月 北図書館西棟オープン

教育学習支援

LEARNING SUPPORT AND TEACHING SUPPORT

「本は脳を育てる」ブックワークショップ

異なる言語で描かれた同じMANGAのワンシーンを読み比べることで外国語習得を体験するワークショップを外国語教育センター教員と連携して開催。



英語多読マラソン

やさしい英語の本をたくさん読むことを支援するため実施。このほか、英語多読に関するイベントも開催。英語多読マラソンへの平成28年度新規登録者数は293名。



障がいのある学生への支援

プリント・ディスアビリティのある学生への支援として、図書・学術論文を電子化して提供するサービスを正式に開始。平成28年度は90件の電子化を実施。



学生サポーター自主企画「疲れた北大生を癒そう計画」

附属図書館学生サポーターが企画し、音楽会、写真カフェ等の4回のイベントを開催。いずれも教員や学生サークルと連携し、図書館内のメディアコート等で実施。



研究支援

RESEARCH SUPPORT

英語論文執筆セミナー

院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー「人文社会科学系編」、「生命・理工系編」をURAステーションと協同で2回実施。人文社会科学系編に38名、生命・理工系編に120名が参加。



オープンサイエンスワークショップ

研究戦略室・大学力強化推進本部・高等教育研修センターとの共催で「オープンサイエンス」をテーマとしたワークショップを3回開催。



社会貢献と国際化

CONTRIBUTION TO SOCIETY AND INTERNATIONALIZATION

ウィキペディアキャンパスin北大

オンライン百科事典「ウィキペディア」の執筆を体験するイベントを開催。本学学生の案内による、執筆対象の歴史的建造物等のツアー、ベテラン編集者による講義に続き、図書館所蔵の資料を用いた記事を作成。



古本募金

不要になった書籍を提供いただき、その買取代金を教育支援・研究支援に活用。平成28年度は、利用者用プロジェクター2台、新聞閲覧台を購入。



聞いて見て知る! 国連の活動と北大図書館

国連広報センター千葉潔氏をお招きし、国連の活動と北大図書館の関わりについての講演を実施。高校生らを含め市民約40名が参加。



古典籍資料の電子化・公開

「日本語の歴史典籍の国際共同ネットワーク構築計画」の拠点大学として、平成28年度は古典籍資料約450点を電子化。国文学研究資料館の新日本古典籍総合データベースから試験公開中。



機関リポジトリ

HUSCAP (北海道大学学術成果コレクション)

HOKKAIDO UNIVERSITY COLLECTION OF SCHOLARLY AND ACADEMIC PAPERS



本学研究者の研究論文をはじめとした学術成果を電子的に保管し、インターネットを通じて無料で公開。

北方地域のあらゆる分野の文献を網羅する

北方資料コレクション

NORTHERN STUDIES COLLECTION



ヤエンコロアイヌ文書 (ヤエンコロは人名)



W.S.クラーク



クラーク契約書



北海道歴史図

すべての文献は「北方資料データベース」としてホームページにて公開。

